

安原地区	令和4年度	推進交付金：600,000円
取組み1 地区事業運営事業 安原地区まちづくり協議会主催		推進交付金の活用 有

(1) 目的

まちづくり協議会主催事業の文化祭・ひろばまつり、サマーナイトフェスタIN安原などで使用するスタッフ用の法被を作製したものです。

(2) 取組み

地域の中で法被作製実行委員会を立ち上げ、委員の意見を集約して法被を作製しました。

令和4年度事業は、中止や縮小など思うように開催できませんでしたが、令和5年度事業は、スタッフお揃いの法被を着てイベント等を開催したいと思います。

このことにより、スタッフのモチベーションの向上とともに、参加者もスタッフに声をかけやすく親しみやすいイベントを開催することができます。

(3) 今後の展開

イベントだけでなく、地区の集まりなどにも使用して、地区住民の一体感を高めていきたいと思っています。



取組み2 地区事業広報事業

安原地区まちづくり協議会主催

推進交付金の活用

有

(1) 目的

安原地区まちづくり協議会等が主催する地区事業を取材し、地区新聞として「まちづくり あさば野新聞」を毎年3回発行しています。地区内全戸配布し行事を広く情報発信することで、多くの方が地域に目を向け地域づくり活動に参加することを目指しています。

(2) 取組み

ア 発行回数等

各町会の魅力を発信する「探訪シリーズあさば野めぐり」を企画するなど編集委員のアイデアにより紙面を作製しました。

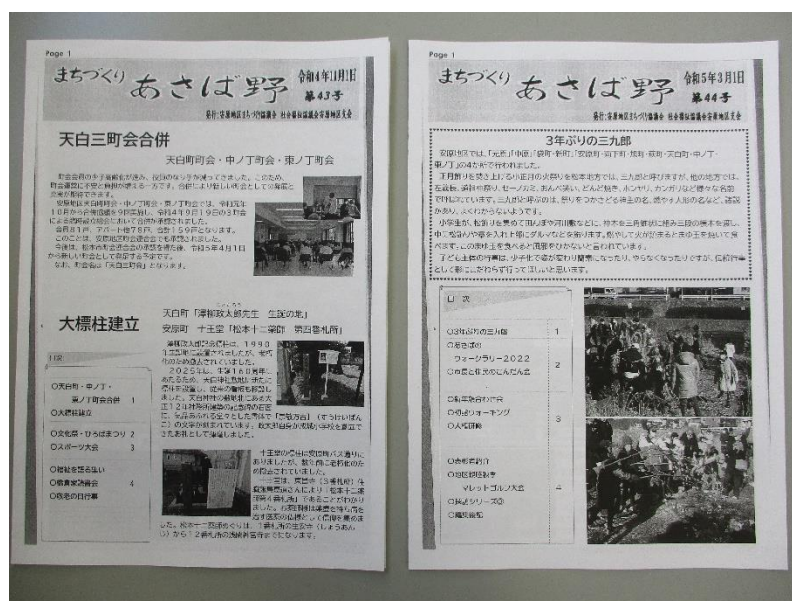
令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となった行事があったため、年2回の発行とし、地区内全戸配布しました。

イ 発行体制

安原地区まちづくり協議会であさばの新聞編集委員会を組織し、取材・編集・印刷・仕分け作業を行いました。

(3) 今後の展開

今後も継続して地区の情報を発信し、多くの方に注目していただけるよう工夫を重ねていきます。



取組み3

健康づくり事業

安原地区まちづくり協議会主催

推進交付金の活用

有

(1) 目的

月1回のウォーキング(地区内・近隣地区)及び年2回のウォーキング大会(市外のコース)を開催することにより健康づくりの意識向上を図るものです。併せて仲間と一緒に歩くことや年2回のウォーキングまとめの会(室内運動・昼食会)で、住民同士の交流を深め、連帯感を醸成することを目的としています。

(2) 取組み

ア 毎月の活動

地区住民を対象に毎月1回(地区内・近隣地区)開催。毎月コースを変えて、季節ごとに良い景色が観られる場所を選んで歩きました。

8月と3月は室内ストレッチを行った後、まとめの会を行い親睦を深めました。

イ ウォーキング大会

毎月の活動の他に年2回ウォーキング大会(市外ウォーキングコース)を開催。本年度は5月に「糸魚川フォッサマグナミュージアム」、10月に「ヘブンスそのはら」へ行き、普段はあまり歩かない坂道や遊歩道を楽しく歩きました。

(3) 今後の展開

毎月参加される方が多く、生活の一部となっています。自分の健康に気を配り、健康意識も向上しています。今後、今以上に魅力的なウォーキングコースを見つけ、新たな参加者が増えるよう事業を進めていきます。



取組み4 あさばのウォークラリー事業

推進交付金の活用

安原地区まちづくり協議会主催

有

(1) 目的

ウォーキングを通じて地区住民相互の親睦を深め、健康増進を図るとともに、地区内や近隣の史跡を回ることで、地区への愛着を深めることを目的としています。

(2) 取組み

新型コロナの影響で各種行事が中止や縮小となる中、実施可能な行事として企画しました。令和4年度は城北地区に足を延ばし、歴史的史跡をチェックポイントとしたクイズ形式で実施し、約35名の参加がありました。

ウォーキングの後のお楽しみは、カレーライスをみんなで食べ、お楽しみ抽選会を行いました。ドキドキ・わくわく、みんなで楽しい一日を過ごしました。

(3) 今後の展開

マンネリ化しないよう、新たなチェックポイントの発掘や参加者の新規開拓を図ります。

